

千里あさひくらぶウェブサイトが 「スマホ対応」になってリニューアル!

0843.co.jp/saclub/

千里あさひくらぶウェブサイトが、(やっと)スマホ対応に!
地域情報ブログ、お得な提携店、YouTubeチャンネルなど、
知りたい情報ヘラクラクたどりつけます。懐かしい『月く』の
バックナンバーも見られます。ぜひご利用ください。



大城

佐々木



千里あさひくらぶブログ



『月く』バックナンバー



YouTubeチャンネル

防災グッズ 24点セット (2人用)



阪神大震災・東日本大震災の被災者や防災
士の意見を元に、食品・ラジオ付き多機能自
家発電ライト・防寒用具等の必需品をセット。
事前準備や震災対策用防災マニュアル付き。



(商品名)
EX. 48 サバイバルローラーバッグ
[ニューベージュシック]
内容物と
説明書▶

税込 送料込 **17,800円**

●注文締切り5月31日(月) ●事前のご集金。
●ご集金後、宅配業者が約2週間でお届け。

▶QR注文 24時間OK ▶お電話注文 06-6872-0031
平日10~18時
●個人情報、商品のお届けなど、本件に関する事項に利用します。

皆様からご投稿
いただいた「春」
(すべて掲載できずごめんなさい)



【編集後記】桜の開花が、記録を取られてから最速(3/19)に。今春撮影しても今号の紙面に間に合ったかも。発行が、花期を超えないことを祈ります。(岡野)

月刊 千里あさひくらぶ 2021年 4月号 (通巻252号)

地元情報を朝日新聞を通じて毎月お届け!

千里ニュータウンの小学校 懐かし・ビックリ 門出の風景



千里ニュータウン(以下、千里NT)のまちびらきは
昭和37(1962)年。9月に、吹田市佐竹台で最初の
入居がありました。来年で60周年になります。
もともとは、竹林や桃林、耕作地が多くを占めた丘陵
地帯。それをほとんど更地に造成し、計画的に
宅地、公園、商店、学校などを造りました。
だけど「実験都市」とも呼ばれた日本初の大規模ニュー
タウン。門出の行事は計画通り、でもなかったようで…

奥平

千里NT初は「千里丘陵小学校」

千里NT最初の小学校は、もちろん佐竹台小。でも、昭和37年
9月の開校に、地名「佐竹台」の決定が1カ月ほど間に合わな
かった。そこで仮に「千里丘陵小」と名付けられた。

11月には「佐竹台小」に変更。ちなみに昭和39年3月まで、
今の佐竹台幼稚園の場所に校舎があった。

当時、学校には電話がなくて、校長先生は1^{キロ}以上も離れた
ショッピングセンターや、別地域の学校まで往復したらしい。

初年度の在校生は130名(令和2年度は約750名)。「千里
NT初の卒業式」は昭和38年3月で、18名が巣立っていった。



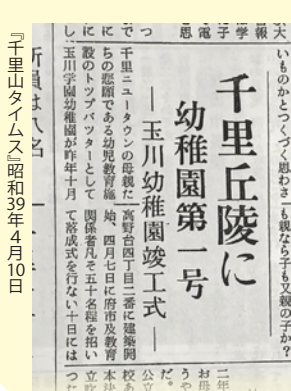
★心配だけど
勉強頑張りたい。
A.Rさん(男子)

★目指せ文武両道!
S.Yさん(男子)

★スポーツと勉強を
両立させる。
T.Dさん(男子)

保育所・幼稚園 どちらが先?

保育所1号は、佐竹台に昭和40年5月開設の、
千里ニュータウン消費生活協同組合保育所。
幼稚園は、高野台の玉川学園幼稚園。初の入園
式は昭和39年4月だから、こちらが先。公立の佐竹
台幼稚園には、タッチの差で先じた。当時の通園
風景は、「風呂敷包みのお道具箱をうれしそうに抱
えた園児が、お母さんに手をひかれ…」だそう。
公立保育所1号は、北千里保育園(昭和43年)。



ASA 朝日新聞千里販売

コロナ禍で、これまでのような卒業・入学式を
行うのは困難に。でも、節目を祝って感謝する、
門出の行事の大切さは今も昔も変わりません。
今回は小学校を対象に、千里ニュータウンがで
きた当時の「門出」にまつわる懐かしくてビッ
クリなエピソードを、郷土資料から紐解きました。

★は、この春、地元小学校卒業の子どもの「中学生になったら」

★文武両道。
T.Aさん(男子)

★クラスで存在感。
K.Kさん(男子)

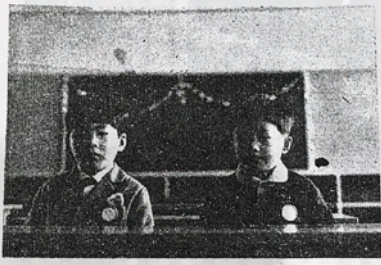
★野球部に入って
毎日勉強も頑張る。
M.Yさん(男子)

★勉強を頑張る。
W.Hさん(女子)

「たった9人の…」3つの物語

高野台小 → 9

千里NT2番目のまちにできた高野台小。初めての始業式は昭和38年4月。児童はたったの9人だった。そのワケは、団地の完成が2カ月遅れたため。地元紙『千里山タイムス』に、「1年生の2人は『しばらく教室と先生を独占できる』と、可愛い瞳をクルクル輝かせていた」とある。



千里山タイムス 昭和38年4月18日

青山台小 → 2

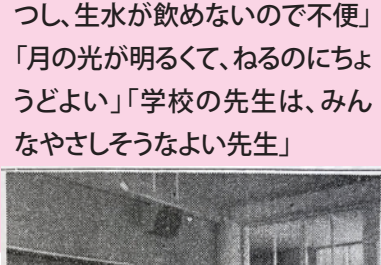
青山台小はもっとスゴかった。昭和40年4月に、女子児童たった2人で開校した。でも、その2人は工事関係者の子どもだったので、工期を終えたと、結局1カ月もしないうちに引っ越していった、というオチがつく。それからしばらく児童がゼロだった??



『私の回顧録 千里・千歩・万歩・漫歩』より

桃山台小 → 1

桃山台小はさらにスゴイ。昭和42年、近隣センター薬局の5年生の息子さん、1人ぼっちの開校だった。こちらも住民の一斉入居が遅れたのがその理由。男の子はこんな作文を残した。「引っ越しには慣れているけど、まだ友だちがいないのでさびしい」「工事でほこりが良く立つし、生水が飲めないの不便」「月の光が明るくて、ねるのにちょうどよい」「学校の先生は、みんなやさしそうなよい先生」



『千里山タイムス 昭和42年6月9日』

うわ〜、信じられない！

東條

「千里の道も一歩から」

ご卒業・ご入学の皆様、おめでとうございます！「千里の道も一歩から」のことわざの通り、夢に向かって、新しい一歩を踏み出してください。私たちは、地元千里の朝日新聞販売店として、今後も新聞を使った教育活動などで、お力になりたいと願っております。

春の無料お試し読みキャンペーン

朝日新聞・朝日小学生新聞・朝日中高生新聞を、もれなく1週間無料でお試し読みいただけます。QRコードからお気軽に応募ください。

※自動で有料購読になりません。※個人情報は無料試読の手続きに利用。



新聞で、地域発展に貢献します



西口

★志望校に向けて勉強と野球の両立。
F.Yさん(女子)

★スマホを持ちたい。
T.Yさん(男子)

(参考)新聞・書籍:『千里山タイムス(現、千里タイムス)』『私の回顧録 千里・千歩・万歩・漫歩』
ウェブ:『ニュータウン・スケッチ』『Wikipedia』 (協力) 千里ニュータウン情報館



①「高野台のエース」岡村昇二さん18.3撮影②服部緑地に・南地祐希さん21.3撮影③新千里北町の車止め・山本晶さん20.4撮影④万博公園・岡村昇二さん19.4撮影⑤解体前の佐竹台団地・岡本昭子さん19.4撮影…ご投稿ありがとうございます。

地元の千里の桜自慢

(当紙について)『月刊千里あさひくらぶ(通称、月く)』は、朝日新聞千里販売が毎月最終日曜日に、朝日新聞朝刊に折り込んで発行している地元情報紙です。

「スマホから投稿できます」

引越し

いつも素敵な絵を添えてくれる侯野さん。今回の川柳は「ウソ」です。うわ〜、信じられない！

竹見台・上田憲次さん

ウソ

川柳でウソを何回ついたやら

山手町・侯野喜一さん

開花

いつ咲くの心ドキドキ待っている

新千里北町・豊沢タカさん

東條

味噌汁の湯気で包んだウソ一っ

津雲台・中川隆亮さん

園児でもはやりのウソの是非をしる

新千里東町・新原健市さん

便利なうそが瞳は泳いでる

高野台・江藤憲子さん

リハビリは一人で立ったチューリップ

(いずれも)二葉町・中井智代さん

シクラメン息苦しかったでしょう

小曽根・中川昭代さん

コロナ禍でもしや桜の変色開花

新千里西町・改田明子さん

コロナでも花は無邪気に開花する

新千里北町・豊沢タカさん

朝日千里う

投句先

〒560-0085 豊中市上新田3-10-21 朝日新聞千里販売「朝日千里う」係
FAX 06・6872・0034
メール aclub@0843.co.jp
①川柳(お1人3句まで)
②〒住所③氏名④年齢
⑤連絡先 ※原稿返却不可

次号のお題 1句でも可

旅行/いよいよ/夏日
お題を明記。自作の未発表に限る。
締切:4/12(月)必着

校長室に謎のマスクマン現る！ 『月く』紙面 高野台小へお届け！

吹田市立高野台小学校に3月某日、突如マスクマンが現れました。同小の記事と、新聞お面の作り方が掲載された『月刊千里あさひくらぶ(通称、月く)』3月号を校長先生に届けるためです。

村上弘明校長は驚く様子もなく「私も何かかぶりましょうか?」と、冗談で返してくれました。でも「2人ともかぶったら、誰が誰かわからない」ということで、校長先生は素顔で写真をカシャッ!

撮ってくれた教頭先生は、マスクに張られたSDGsのマークを見て、「これがかぶれば、SDGsの授業が盛り上がりそうですね」とユニークなアイデアを提案してくれました。

『月く』は、発行地域の学校から情報をいただければ、すぐに取材に飛んでいきます。ぜひお気軽にネタをお寄せください。



『月く』バックナンバー



紙面を受け取って笑顔の清水校長

スクープ?とられたど
byカメラ得意の教頭先生

ニュータウン地名の由来を発掘！ 千里あさひくらぶが オンラインセミナー

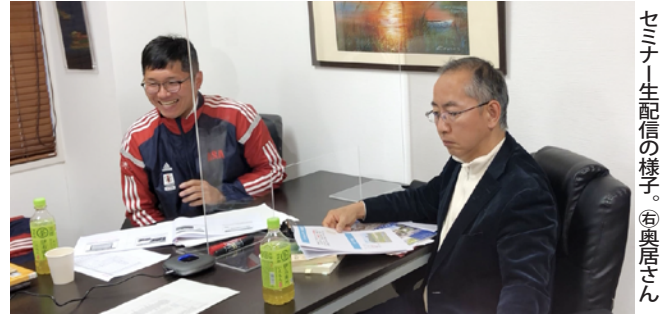
吹田市立千里ニュータウン情報館(阪急南千里駅すぐ)主催の、初のオンラインセミナーがこの程、オンライン会議アプリ「ZOOM」を使い、3回連続で開催されました。3月13日には「町ネタをいつも探している地域記者」として当紙の岡野が、津雲台や竹見台など、千里ニュータウンの地名の由来を中心にお話しました。

聞き手は「千里ニュータウン研究者」として知られる奥居武さん(千里パブリックデザイン)。リハーサルなしにも関わらず、息の合った漫才のような掛け合いトークが、画面の向こうの受講生さんの笑顔を誘いました。

今回お話した内容は文字起こしされ、情報館公式サイトに掲載されます。QRコードにスマホカメラをかざせば、どなたでも見られます。



セミナーのトークが読める!



セミナー生配信の様子。⑥奥居さん

手作りお面写真&ひとこと募集

2、3月号で特集した、新聞お面の作品を募集中です!「お面の写真」「ひとことコメント(30文字まで)」を、QRコードを読んで、電子メールで送ってください。随時募集ですが、5月号掲載の場合は4月12日(月)締め切りです。



作り方【動画】



作り方【紙面】

<必要事項>①お面写真(何枚でも可)②ひとことコメント
③お名前④学年(大人の方はご年齢)⑤住所⑥電話番号



お面作品投稿

acub@0843.co.jp

今月の投稿作品



(吹田市・ヨコちゃん)

半分は切って内側にも張り、入れ物に!「普段からきれいな新聞を取ってる」んだって



(地元のネタや写真・取材のご希望など)メール:acub@0843.co.jp 電話:(06)6872-0031 ファクス:(06)6872-0034 「月刊千里あさひくらぶ編集部」まで。